

地域再生法に基づく地域再生計画の事後評価(案)

1. 地域再生計画の概要

| | |
|------|---|
| 計画名称 | 四国のまほろば美馬市再生計画 |
| 作成主体 | 徳島県、美馬市 |
| 計画区域 | 美馬市の全域 |
| 計画期間 | 平成23年度～平成27年度 |
| 支援措置 | 道整備交付金、汚水処理施設整備交付金 |
| 認定日等 | 平成23年3月25日 第18回（平成27年3月27日 変更認定） |
| 計画趣旨 | 市民の生活や広域交流、市外からのアクセスに大きな役割を果たしている幹線道路と各地に点在する観光拠点や公共施設へのルート整備及び林道との連絡を確保するため、市道の新設・改良を行うとともに、森林へのアクセス確保による森林整備の促進を図るため林道の開設・延長を行う。また、吉野川や清流穴吹川などの水質保全のため、穴吹地区において公共下水道事業を推進するとともに、認可区域外の地域において合併処理浄化槽(個人設置型)の設置を促進することで、汚水処理人口の普及を図る。 |

2. 地域再生計画に記載した目標の達成状況

| | 目 標 | 目 標 値 | 実 績 値 (見込み) | 目標達成度 |
|-----|--------------------------|----------------|-------------|---------|
| 目標1 | 年間観光入込客数(平成22年度 53万人) | 56万人(平成27年度) | 58万人 | 103.57% |
| 目標2 | 計画期間中(平成22～27年度)の森林整備面積 | 1,500ha | 1,140ha | 76.00% |
| 目標3 | 汚水処理人口普及率(平成22年度末 42.3%) | 49.0%(平成27年度末) | 49.8% | 101.63% |

3. 目標を達成するために行う事業の実施結果

(1) 道整備交付金を活用する事業

| 施設の種類の | 路線名 | | 事業期間 | 事業量 | 事業費(千円) | 交付金(千円) | 実施結果 |
|--------|----------|-----|-----------|------------|---------|---------|--|
| 市道 | 市道脇町26号線 | 計 画 | H23 ～ H27 | L= 1,064 m | 65,000 | 32,500 | 市道の改良・舗装を早期に実施することで、安定した地域の生活の向上を図ることができた。また、集落間のネットワーク化への整備は十分ではなかった。 |
| | | 実 績 | H23 ～ H27 | L= 1,690 m | 106,364 | 53,182 | |
| | 市道脇町47号線 | 計 画 | H23 ～ H27 | L= 2,815 m | 89,000 | 44,500 | |
| | | 実 績 | H23 ～ H27 | L= 3,485 m | 83,650 | 41,825 | |

| 施設の種類 | 路線名 | | 事業期間 | 事業量 | 事業費(千円) | 交付金(千円) | 実施結果 |
|-----------|-----------|---------|------------|------------|---------|---|---|
| 市道 | 市道脇町347号線 | 計画 | H23～H24 | L= 692 m | 20,000 | 10,000 | 市道の改良・舗装を早期に実施することで、安定した地域の生活の向上を図ることができた。また、集落間のネットワーク化への整備は十分ではなかった。 |
| | | 実績 | H23～H27 | L= 1,087 m | 40,004 | 20,002 | |
| | 市道美馬14号線 | 計画 | H23～H27 | L= 454 m | 75,000 | 37,500 | 市道の改良・舗装を早期に実施することで、安定した地域の生活の向上を図ることができた。また、観光・交流拠点へのアクセスの向上は十分ではなかった。 |
| | | 実績 | H23～H27 | L= 454 m | 83,684 | 41,842 | |
| | 市道美馬359号線 | 計画 | H23～H27 | L= 567 m | 75,000 | 37,500 | 市道の改良・舗装を早期に実施することで、安定した地域の生活の向上を図ることができた。また、集落間のネットワーク化への整備は十分ではなかった。 |
| | | 実績 | H23～H26 | L= 338 m | 79,500 | 39,750 | |
| | 市道美馬146号線 | 計画 | H23～H26 | L= 694 m | 40,000 | 20,000 | 市道の改良・舗装を早期に実施することで、安定した地域の生活の向上を図ることができた。また、集落間のネットワーク化への整備は十分ではなかった。 |
| | | 実績 | H23～H27 | L= 631 m | 34,486 | 17,243 | |
| | 市道美馬198号線 | 計画 | H23～H26 | L= 480 m | 40,000 | 20,000 | 市道の改良・舗装を早期に実施することで、安定した地域の生活の向上を図ることができた。また、集落間のネットワーク化への整備は十分ではなかった。 |
| | | 実績 | H24～H26 | L= 734 m | 31,460 | 15,730 | |
| | 市道美馬548号線 | 計画 | H23～H27 | L= 724 m | 75,000 | 37,500 | 市道の改良・舗装を早期に実施することで、安定した地域の生活の向上を図ることができた。また、観光・交流拠点へのアクセスの向上は十分ではなかった。 |
| | | 実績 | H23～H27 | L= 460 m | 114,670 | 57,335 | |
| | 市道穴吹14号線 | 計画 | H23～H24 | L= 1,259 m | 40,000 | 20,000 | 市道の改良・舗装を早期に実施することで、安定した地域の生活の向上を図ることができた。また、集落間のネットワーク化への整備は十分ではなかった。 |
| | | 実績 | H23～H24 | L= 1,259 m | 19,010 | 9,505 | |
| | 市道穴吹26号線 | 計画 | H23～H25 | L= 1,120 m | 40,000 | 20,000 | 市道の改良・舗装を早期に実施することで、安定した地域の生活の向上を図ることができた。また、集落間のネットワーク化への整備は十分ではなかった。 |
| | | 実績 | H23～H25 | L= 1,120 m | 22,360 | 11,180 | |
| | 市道穴吹27号線 | 計画 | H23～H27 | L= 507 m | 60,000 | 30,000 | 市道の改良・舗装を早期に実施することで、安定した地域の生活の向上を図ることができた。また、集落間のネットワーク化への整備は十分ではなかった。 |
| | | 実績 | H23～H27 | L= 419 m | 81,168 | 40,584 | |
| | 市道穴吹149号線 | 計画 | H23～H24 | L= 600 m | 20,000 | 10,000 | 市道の改良・舗装を早期に実施することで、安定した地域の生活の向上を図ることができた。また、観光・交流拠点へのアクセスの向上は十分ではなかった。 |
| | | 実績 | H23 | L= 600 m | 12,354 | 6,177 | |
| 市道穴吹354号線 | 計画 | H23～H27 | L= 1,901 m | 40,000 | 20,000 | 市道の改良・舗装を早期に実施することで、安定した地域の生活の向上を図ることができた。また、集落間のネットワーク化への整備は十分ではなかった。 | |
| | 実績 | H23～H27 | L= 2,101 m | 56,564 | 28,282 | | |
| 市道穴吹440号線 | 計画 | H23～H27 | L= 1,418 m | 40,000 | 20,000 | 市道の改良・舗装を早期に実施することで、安定した地域の生活の向上を図ることができた。また、集落間のネットワーク化への整備は十分ではなかった。 | |
| | 実績 | H23～H27 | L= 1,518 m | 44,544 | 22,272 | | |
| 市道弓道(橋梁) | 計画 | H25～H26 | L= 67 m | 320,000 | 160,000 | 市道の改良・舗装を早期に実施することで、安定した地域の生活の向上を図ることができた。また、観光・交流拠点へのアクセスの向上は十分ではなかった。 | |
| | 実績 | H24～H26 | L= 35 m | 76,600 | 38,300 | | |

| 施設の種類 | 路線名 | | 事業期間 | 事業量 | 事業費(千円) | 交付金(千円) | 実施結果 | |
|--------------|------------|--------------|-----------|------------|------------|---------|--|--|
| 市道 | 市道内宇夫(橋梁) | 計画 | H24 | L= 12 m | 50,000 | 25,000 | 市道の改良・舗装を早期に実施することで、安定した地域の生活の向上を図ることができた。また、観光・交流拠点へのアクセスの向上は十分ではなかった。 | |
| | | 実績 | H24 | L= 12 m | 20,000 | 10,000 | | |
| | 市道木屋平147号線 | 計画 | H23 | L= 324 m | 7,000 | 3,500 | 市道の改良・舗装を早期に実施することで、安定した地域の生活の向上を図ることができた。また、集落間のネットワーク化への整備は十分ではなかった。 | |
| | | 実績 | H23 | L= 324 m | 7,000 | 3,500 | | |
| | 市道木屋平2号線 | 計画 | H23 ~ H25 | L= 947 m | 24,000 | 12,000 | 市道の改良・舗装を早期に実施することで、安定した地域の生活の向上を図ることができた。また、集落間のネットワーク化への整備は十分ではなかった。 | |
| | | 実績 | H23 ~ H27 | L= 1,221 m | 29,222 | 14,611 | | |
| | 市道木屋平104号線 | 計画 | H23 ~ H25 | L= 1,241 m | 24,000 | 12,000 | 市道の改良・舗装を早期に実施することで、安定した地域の生活の向上を図ることができた。また、集落間のネットワーク化への整備は十分ではなかった。 | |
| | | 実績 | H23 ~ H26 | L= 1,506 m | 28,000 | 14,000 | | |
| | 市道木屋平119号線 | 計画 | H26 ~ H27 | L= 755 m | 30,000 | 15,000 | 市道の改良・舗装を早期に実施することで、安定した地域の生活の向上を図ることができた。また、観光・交流拠点へのアクセスの向上は十分ではなかった。 | |
| | | 実績 | H24 ~ H27 | L= 853 m | 39,042 | 19,521 | | |
| | 市道木屋平82号線 | 計画 | H27 | L= 422 m | 10,000 | 5,000 | 市道の改良・舗装を早期に実施することで、安定した地域の生活の向上を図ることができた。また、集落間のネットワーク化への整備は十分ではなかった。 | |
| | | 実績 | H24 | L= 422 m | 11,000 | 5,500 | | |
| | 林道 | 林道木屋平木沢線(開設) | 計画 | H23 ~ H24 | L= 1,065 m | 217,000 | 128,715 | 林道開設により、森林施業などの効果が得られた。また、スーパー林道に連絡し、剣山山系の新たな観光のルートが整備された。 |
| | | | 実績 | H23 ~ H24 | L= 1,065 m | 217,000 | 128,715 | |
| 林道田野内杖立線(開設) | | 計画 | H23 ~ H27 | L= 1,238 m | 365,000 | 216,125 | 林道開設により、森林施業などの効果は図られたが、林業の振興と地場産業の活性化については十分でなかった。 | |
| | | 実績 | H23 ~ H27 | L= 1,365 m | 466,000 | 275,715 | | |
| 林道梶山内田線(開設) | | 計画 | H23 ~ H27 | L= 1,270 m | 330,000 | 195,475 | 林道開設により、森林施業などの効果は図られたが、林業の振興と地場産業の活性化については十分でなかった。 | |
| | | 実績 | H23 ~ H27 | L= 1,189 m | 360,000 | 213,275 | | |
| 林道高越二戸線(開設) | | 計画 | H23 ~ H27 | L= 1,071 m | 305,000 | 180,575 | 林道開設により、森林施業などの効果は図られたが、林業の振興と地場産業の活性化については十分でなかった。 | |
| | | 実績 | H23 ~ H27 | L= 919 m | 229,000 | 135,735 | | |
| 林道今丸線(開設) | | 計画 | H23 | L= 392 m | 60,000 | 30,000 | 林道開設により基盤整備を行ったところ、森林へのアクセスと森林施業の効率化と施業の推進が図られた。また、林業の振興と地場産業の活性化を図ることについては、十分でなかった。 | |
| | | 実績 | H23 | L= 392 m | 60,000 | 30,000 | | |
| 林道谷口カケ線(開設) | | 計画 | H24 ~ H27 | L= 456 m | 170,000 | 85,000 | 林道開設により基盤整備を行ったところ、森林施業などの効果は上げられた。また、林業の振興と地場産業の活性化を図ることについては、十分でなかった。 | |
| | | 実績 | H24 ~ H27 | L= 450 m | 170,000 | 85,000 | | |
| 林道岩壁線(開設) | | 計画 | H24 ~ H27 | L= 348 m | 120,000 | 60,000 | 林道開設により基盤整備を行ったところ、森林施業などの効果は上げられた。また、林業の振興と地場産業の活性化を図ることについては、十分でなかった。 | |
| | | 実績 | H24 ~ H27 | L= 399 m | 120,000 | 60,000 | | |

| 施設の種類 | 路線名 | | 事業期間 | 事業量 | 事業費(千円) | 交付金(千円) | 実施結果 |
|-------|--------------|----|-----------|------------|---------|---------|--|
| 林道 | 林道北又剪字線(開設) | 計画 | H23 | L= 140 m | 23,000 | 11,500 | 林道の基盤整備を行うことにより、森林へのアクセスと森林施業の効率化と施業の推進が図られた。また、林業の振興と地場産業の活性化を図ることについては、十分でなかった。 |
| | | 実績 | H23 | L= 140 m | 23,000 | 11,500 | |
| | 林道大谷山線(開設) | 計画 | H23 ~ H27 | L= 576 m | 140,000 | 70,000 | 林道開設により基盤整備を行ったところ、森林施業などの効果は上げられた。また、林業の振興と地場産業の活性化を図ることについては、十分でなかった。 |
| | | 実績 | H23 ~ H27 | L= 521 m | 140,000 | 70,000 | |
| | 林道半平杖立線(開設) | 計画 | H23 ~ H27 | L= 599 m | 190,000 | 95,000 | 林道開設により基盤整備を行ったところ、森林施業などの効果は上げられた。また、林業の振興と地場産業の活性化を図ることについては、十分でなかった。 |
| | | 実績 | H23 ~ H27 | L= 561 m | 182,200 | 91,100 | |
| | 林道木屋平木沢線(舗装) | 計画 | H25 ~ H27 | L= 3,314 m | 96,000 | 48,000 | 林道の整備を行ったことにより、森林へのアクセス効率化が図られた。また、迂回路としての機能の向上が図られた。林業の振興と地場産業の活性化を図ることについては、十分でなかった。 |
| | | 実績 | H25 ~ H27 | L= 3,257 m | 87,000 | 43,500 | |

(2) 汚水処理施設整備交付金を活用する事業

| 施設の種類 | | 平成23年度 | 平成24年度 | 平成25年度 | 平成26年度 | 平成27年度 | 合計 | 実施結果 |
|----------------|---------|---------|--------|--------|--------|--------|---------|--|
| 公共下水道 | 計画(千円) | 200,000 | 58,600 | 24,000 | | | 282,600 | 平成23~25年度にかけて、公共下水道の事業認可区域である穴吹処理区の整備を完了し、汚水処理人口463人の普及を図った。 |
| | 実績(千円) | 200,000 | 58,600 | 24,000 | | | 282,600 | |
| | 交付金(千円) | 100,000 | 29,300 | 12,000 | | | 141,300 | |
| 浄化槽 (個人設置型) | 計画(千円) | 27,522 | 33,687 | 27,522 | 9,909 | 27,522 | 126,162 | 平成23~27年度にかけて、美馬市内全域(公共下水道事業認可区域と農業集落排水処理区域を除く)で設置される合併処理浄化槽の設置者に対し、概ね計画どおり浄化槽設置補助金の交付を行い、処理人口1,865人の整備を図った。 |
| | 実績(千円) | 26,412 | 17,186 | 23,067 | 23,958 | 23,752 | 114,375 | |
| | 計画(基) | 94 | 64 | 86 | 88 | 100 | 432 | |
| | 実績(基) | 94 | 64 | 86 | 88 | 81 | 413 | |
| | 交付金(千円) | 9,174 | 11,229 | 9,174 | 3,303 | 5,245 | 38,125 | |

4. 総合評価および今後の方向性

市道については、観光・交流拠点へのアクセス向上や集落間のネットワーク化については不十分な点もあったが、改良・舗装を早期に実施することで、安定した地域の生活の向上を図ることができた。また、林道については、林業の振興や地場産業の活性化に関して不十分な点もあったが、早期の開設・舗装により、森林へのアクセス性向上による施業の効率化をはじめ森林整備の推進を図ることができた。一方、公共下水道については穴吹処理区の整備が完了し、浄化槽とあわせて処理人口の増加が図られた。

今後は、不十分であった点について課題を整理し、次期計画に反映したい。